

令和7年度 第2回 浜松市立高等学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月29日（水） 13時10分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立高等学校 応接室
- 3 出席委員 須賀淳子委員、金田知久委員、富室俊和委員、小栗豊人委員
欠席委員 杉浦友治委員、林左和子委員
- 4 学 校 宮崎（校長）、河田（副校長）、刑部（教頭）、夏目（事務長）
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 会議記録

(1) 授業参観

ア 授業参観にあたって見学のポイント（副校長より）

- ・年々、ICT活用が進み、生徒にとって分かりやすい授業、不必要な部分は時間短縮がされた授業が目指されています。
- ・全校生徒が同一機種のクロームブックを各自で購入し、その端末を用いて「主体的・対話的で深い学び」や探究活動を行っています。

イ 授業改善の取り組み（副校長より）

- ・生徒による授業評価を実施（年2回）
- ・管理職による授業参観、教員相互の授業参観
- ・10月24日（金）に県総合教育センター指導主事を招き、研究授業と教科検討会、及び「発達支持的な生徒指導の充実」をテーマに研修
- ・11月6日（木）にアクティブ・ラーニング、ICT活用について工夫した授業を、県内中高の教員に公開し、授業検討会を開催。浜松市教育委員会から指導主事を招き、研究授業を実施

(2) 議事

ア 校長挨拶

- ・体育大会では、PTAや同窓会等からの御協力もあり、熱中症対策も行いながら安全に実施することができた。
- ・学習面において、生徒がきちんと地道に授業に集中し、自然体で協議ができ、そして切磋琢磨できていると感じている。授業内容が生徒に浸透し、主体性が出て学力が伸びていると思われる。さらに、生徒のニーズに合わせながら、最新のICT等を工夫しながら入れていきたい。
- ・体育大会から中間テストまでの間に生徒たちは学習への切り替えが自然とできていた。
- ・部活動において、陸上競技、テニス、なぎなた等がインターハイへ行き、陸上、テニス、水泳が国スポへ出場し、多くの生徒が活躍をした。マンドリン部は2年ぶりに文部科学大臣賞（全国1位）に、放送部は毎年全国大会へ出場しているが、24年

- ぶりに個人3位を獲得した。書道部、合唱部、文芸部も全国高文祭に出場した。
- ・代が替わった新人大会では、陸上、男子テニス及び女子テニス部が東海大会出場、卓球部（女子）も東海大会出場となった。
 - ・全ての生徒が健やかに成長できるよう導いて参りたい。

イ 学校の近況報告、ブログ記事の紹介（教頭）

- ・部活動の実績 ・地域貢献活動 ・総合的な探究の時間
- ・部活動のブログの記事は先生方に書いていただいている。
- ・萌葱祭（文化祭）では文化部の力を強く感じた。コンテンツがバラエティに富んでおり、質が高く、それ故に盛り上がっていると実感した。など
- ・7月から11月までに延べ数で17の部活動が全国大会へ出場した。
（会議ではブログ（学校ホームページに掲載あり）を用いて、要点を説明した。）

ウ 研究協議 授業評価アンケートの結果の報告（副校長）

- ・教科の特性に合わせて、各教科ごとに質問項目を設定しているため、全教科が同じ質問をしているわけではない。
- ・授業のわかりやすさ、対話の様子、協働の様子、ICT活用状況、授業進度などを生徒に質問している。教科によっては、「先生に質問しやすい」「質問して疑問を解決した」「学習内容に興味・関心がもてた」「授業では学力を伸ばしてくれる」「課題量は適切である」「実験・観察に意欲的に取り組んだ」などの質問項目もある。
- ・先生方は、このアンケート結果を基に教科会を開き、よりよい授業を目指している。
- ・どの教科・科目も「A 当てはまる」という回答率がとても高いが、「B 大体当てはまる」のパーセントを確認したり、場合によっては「C あまり当てはまらない」の回答がある場合は、その科目において改善する内容を考えたりしている。
（会議では、各教科・科目毎に要点を説明した。）

エ 意見交換

- ・年に一度であるが、授業を見学させていただき、感じることも多いし、誇らしく感じた。（須賀委員長）
- ・授業が学校の中心なので、校長はじめ管理職の先生が6月から11月にかけて全教員の授業を50分見て回っているのは、先生方や生徒にとって大変大きいことだと思う。もしできればだが、事務の方々も授業を見学すると一体感が出ていいと思う。（金田委員）
- ・11月6日の公開授業は、中学校の先生方が参加し、市立高校のいい表れを見て、校風に触れることができるので大変いい機会となっている。（金田委員）
- ・授業アンケートの結果について、要点の説明が分かりやすかった。結果を見て終わりとせず、先生方がその結果を真摯に捉えて、改善につなげていこうとしている姿

勢をととても感じた。授業参観と授業公開と授業アンケートの3つを上手く回して、今後も質の高い授業を蓄積されていくことを大変期待している。(金田委員)

- ・授業アンケートは、先生方が生徒一人ひとりから評価されているので、先生方は真摯に受け止めていると思われる。生徒のニーズにしっかり合わせながら、先生方が授業を組み立てていけるようにデータの利活用も勧めていきたい。(校長)
- ・教科に興味をもってもらいながら受験の対策も行っていると感じた。そのバランスを取られている様子があった。先生方がICTの活用を含めて、今の授業方法を研修されていることを再認識した。常にサイクルを回して、よりよい授業研修をしていただければと感じた。(富室委員)
- ・生徒の授業の様子が大変よく、校内もととてもきれいである。廊下もきれいで、校庭も落ち葉もない状態である。化学の先生方は白衣を着ているなど、先生方のドレスコードも場所に合わせていて、そういうところが大切なことであると思った。(小栗委員)
- ・萌葱際は3,500人の来校者があり、地域の方々とつながっており、期待され、愛されているので、その様子にPTAとしても感激した。体育大会も保護者の方々が大量に見に来られていると感じた。(小栗委員)
- ・生徒からの授業アンケートは、生の貴重なデータなので、生かす価値があると思う。PDCAサイクルに生かすのが大切である。(小栗委員)
- ・廊下の清潔さや誠玲館の清掃がきちんとされている。勉強以外の面もよく、環境が整っている中で勉強をするということが、いかに気持ちよく勉強できるかということには卒業後に気づいたりするのかもしれない。(須賀委員長)
- ・先生方の授業の準備が大変だと想像できる。ホームページのブログはよく見ており、生徒皆さんの頑張りを拝見している。卒業生が活躍したり、頑張っている新聞記事も多いので社会に出てから活躍をする場合もある。(須賀委員長)

(3) その他

- ・次回の第3回学校運営協議会は、令和8年2月5日(木)「学校関係者評価」及び「2年生の政策提言発表会」の見学を予定している。